

平成 13 年度 灘のけんか祭り

松原八幡神社秋季例大祭



~ 八 家 ~

14・15日 - 宮入

ただいまより、八家の紹介をいたします。

ご見物のみなさん、まもなく東の方より八家の幟が見えてきます。

つづいて毛獅子が大きく躍動しながら屋台を先導します。

いよいよ八家の宮入です。

屋台は神の抛りどころ、擬宝珠は神が天下るところとされています。

擬宝珠を守護する露盤には天にも昇る勢いの龍の彫り物があります。

前方には堅く口を閉ざした雄龍、後方を守護するかのよう大きく口を開け、今にも火を吐かんばかりの雌龍の様は、八家の練り子の心意気をあらわしているかのようです。

又、昨年新調した高覧掛けは淡路のつくり、正面には源頼光の鬼退治、左肩には、坂田の金時 鯉退治、右肩には甲賀三郎 龍退治、後ろには加藤清正の虎退治といずれも歴史上の豪快な退治物です。

八家の特徴は何と言っても屋台練りのうまさです。

小さな村だけに他村に負けまいとする意識が、この灘祭りにエネルギーとして結集され、「ヤッサを落とせば八家の恥じ」といった先輩たちの言葉がそのまま伝統として受け継がれ、二体練り、三体練りをした時の腰の高さ、伊達綱が大きく宙に舞う様、総才端がこすれ合う程の練り合わせをしたかと思うと、さっと離れて行くといった変幻自在の練り方は七か村随一の定評があります。

屋台は八家の匠達が、腕によりをかけた平成5年のつくり、太鼓打ち、棒端(ぼうばな)、練り子は「心、技、和」を合わせ持ち、絶妙のチームワークで三位一体となって繰り広げる、華麗で、スピード感溢れる勇壮な八家の練り絵巻を、心ゆくまで堪能して下さい。

これで八家の放送を終わります。

放送は灘中学校放送委員「」でした。ありがとうございました。

15日 - 広畠

ただいまより、八家の紹介をいたします。

ご見物のみなさん、まもなく東の方より八家の幟が見えてきます。

つづいて毛獅子が大きく躍動しながら屋台を先導します。

いよいよ最後の八家の屋台が広畠に入ってきます。

屋台は神の抛りどころ、擬宝珠は神が天下るところとされています。

擬宝珠を守護する露盤には天にも昇る勢いの龍の彫り物があります。

前方には堅く口を閉ざした雄龍、後方を守護するかのよう大きく口を開け、今にも火を吐かんばかりの雌龍の様は、八家の練り子の心意気をあらわしているかのようです。

又、昨年新調した高覧掛けは淡路のつくり、正面には源頼光の鬼退治、左肩には、坂田の金時 鯉退治、右肩には甲賀三郎 龍退治、後ろには加藤清正の虎退治といずれも歴史上の豪快な退治物です。

八家の特徴は何と言っても屋台練りのうまさです。

小さな村だけに他村に負けまいとする意識が、この灘祭りにエネルギーとして結集され、「ヤッサを落とせば八家の恥じ」といった先輩たちの言葉がそのまま伝統として受け継がれ、二体練り、三体練りをした時の腰の高さ、伊達綱が大きく宙に舞う様、総才端がこすれ合う程の練り合わせをしたかと思うと、さっと離れて行くといった変幻自在の練り方は七か村随一の定評があります。

屋台は八家の匠達が、腕によりをかけた平成5年のつくり、太鼓打ち、棒端(ぼうばな)、練り子は「心、技、和」を合わせ持ち、絶妙のチームワークで三位一体となって御旅山の上りに挑戦する、華麗で、躍動感溢れる八家の練り絵巻を、みなさんの暖かいご声援をお願い申し上げます。

これで八家の放送を終わります。

放送は灘中学校放送委員「」でした。ありがとうございました。